

○効果検証の実施目的等：

- ・ 地方版総合戦略はまち・ひと・しごと創生法第10条に基づき、国の総合戦略を勘案して策定するよう努めなければならないとされており、その取組を推進するにあたっては、KPIの進捗状況を確認するとともに、外部有識者を含む検証機関や議会等による検証のほか、住民からの意見聴取等を実施して、定期的、多角的な評価を行うことが重要とされているところ。
- ・ 佐渡市の総合戦略は、改定時のみ効果検証を行ってきており、R6年度は「デジタル技術活用に係る事項の記載」に係る改定を行うにあたり効果検証を行うもの。（R5年度は改定がなかったため、効果検証は未実施）
- ・ 効果検証にあたっては、以下、R5年度総合計画の効果検証指摘事項に係る見直し対応と同様の対応をとる。

○R5年度総合計画の効果検証ご指摘事項とその見直し事項：

1. KPIの妥当性についてチェックする仕組みはあるか。

⇒KPIについては、中間見直し（R8年度）において妥当性等を検証し、必要に応じて修正する。

2. 「進捗状況」の定義（特に前進B）の妥当性について

⇒「進捗状況」前進Bの定義について、下記のとおり見直すこととする。

（当初）現況値に対して「5%以上の改善」が図られたもの

（変更）R8年度の目標値までの「改善幅を100%とした場合、R4～R8の5カ年で毎年20%以上の改善」が図られたもの
と定義

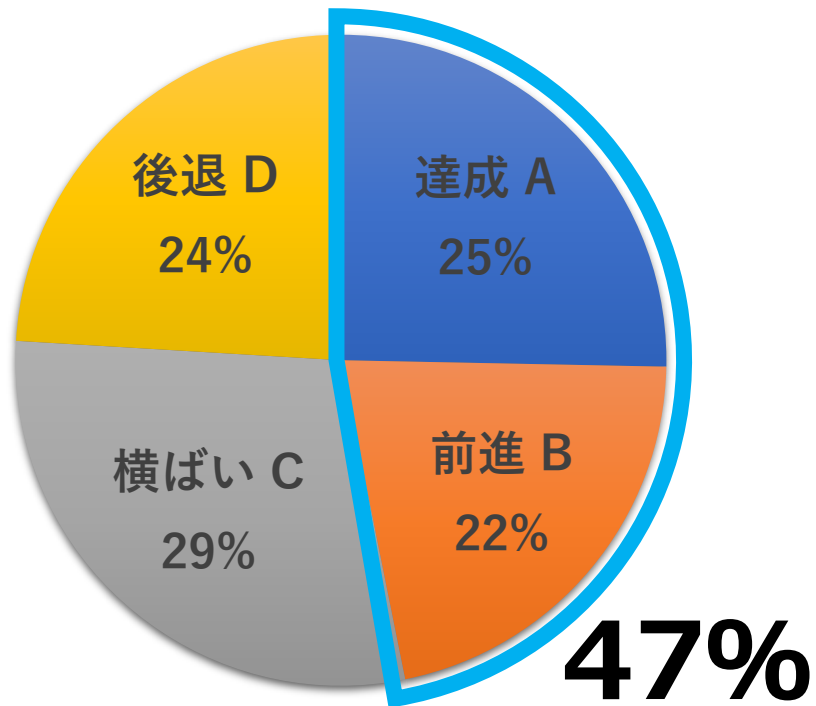
（例：主食用水稻作付面積に対する認証米の割合）

現況値：19.6% R8目標値：25.0% **R5基準値：21.8 < R5実績値：22.7%**)

※現況値とR8目標値の差分（5.4%）につき、毎年一定の割合で改善が図られると仮定（年平均1.08%）

R5実績値22.7%がR5基準値21.8%（現況値19.6%+2.16%）を上回ることから、**「前進B」**と分類

R5年度KPI実績



総括

- 80のKPIのうち実績値が判明した**79のKPI**につき評価検証を実施
- KPI全体の進捗状況は、
「達成A」+「前進B」の割合が **47%**
「横ばいC」+「後退D」の割合が **53%**
- 令和4年度からの1年間では
「達成A」 23% ⇒ **25%**
「後退D」 27% ⇒ **24%** に改善された

佐渡市総合計画と同様、コロナ禍から回復基調にあるものの、依然として影響を受けるものや異常気象などの外的要因によるマイナスがあるが、**達成に向けた取組を進めていく。**

■進捗状況

- 【達成A】 実績値が目標値を上回り、達成した状態
- 【前進B】 実績値が目標に向かい、現況値（策定時）から前進※²している状態
- 【横ばいC】 実績値が現況値（策定時）から変動が見られない状態
- 【後退D】 実績値が現況値（策定時）から後退している状態

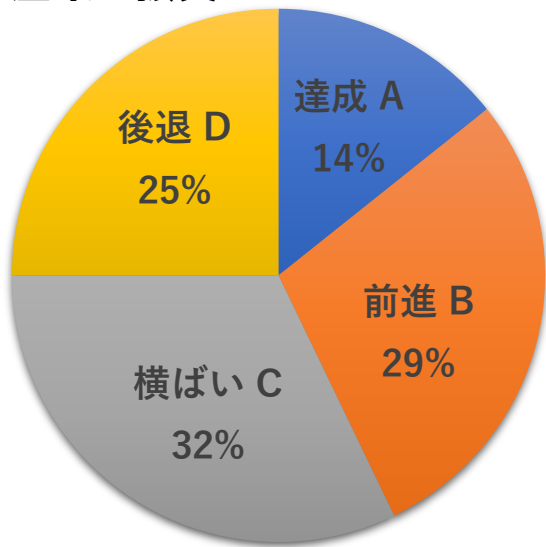
※1 割合（%）は未確定事業を除く

※2 前進BはR8年度までの改善幅を100%とした場合、R4～R8の5カ年で毎年20%以上の改善を図ることと定義

基本目標1 KPI進捗状況

基本目標1 しごと

地域の特徴、地域資源を活かした
産業の振興



施策別の取組	目標指標 (KPI)	現況値 (R2)	実績 (R4)	実績 (R5)	目標 (R8)	R4評価	R5評価
農林水産業の振興	ふるさと納税やE C サイト等での農産物の取扱額	5,800万円	1億7,913万円	2億4,905万円	1億2,000万円	A	A
	黒毛和牛飼育頭数	958頭	981頭	1,024頭	1,000頭	B	A
	市有林年間整備面積	43.56ha	31.64ha	29.93ha	70.00ha	D	D
	佐渡産木材使用量	110m³	161m³	106m³	170m³	B	D
	学校給食での佐渡産野菜使用率（佐渡市地産地消計画）	17.2%	13.8%	16.40%	30%	D	D
雇用のマッチングと企業支援	支援事業を活用し資格等を取得した人数（年間）	240人	146人	135人	300人	D	D
物産ブランド化と商工業の振興	コシヒカリの海上輸送（出荷）量	13,602 t	13,686 t	13,095t	13,602 t	A	D
観光の振興	さど観光ナビのセッション数	779,494セッション	1,186,971セッション	1,471,524セッション	820,000セッション	A	A
	ふれあいガイドの利用客数	7,709人	12,342人	7,594人	20,000人	B	D
誰もがやりがいを持って働ける環境づくり	シルバー人材センター会員登録者数	952人	896人	867人	952人	D	D

評価D事業に対する分析

1. 学校給食での佐渡産野菜使用率（佐渡市地産地消計画）

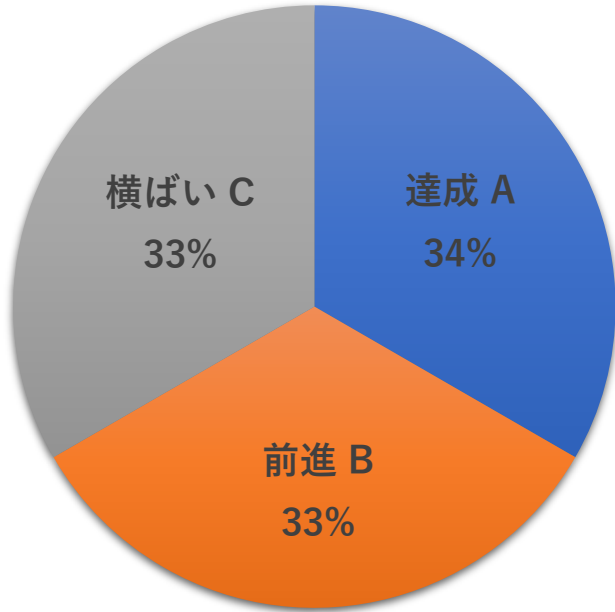
- 高温・渇水により野菜出荷量が約 2 割減となったため、学校給食に必要な量を確保することが困難であった。R 6 年度より渇水対策等に必要な経費を支援しているが、今後、大規模園地の創出支援を図るほか、学校・保育園が直売所等から仕入れや大量購入できるよう、システムを再構築する。

2. コシヒカリの海上輸送(出荷) 量

- 夏場の猛暑、降雨不足の影響による生産量減少に伴い出荷量が減少したが、生産量に対する出荷量の割合はR4年比較で増加（R4:95%、R5:97%）しており、今後更なる販路拡大に向けた取組を行う。

基本目標2 KPI進捗状況

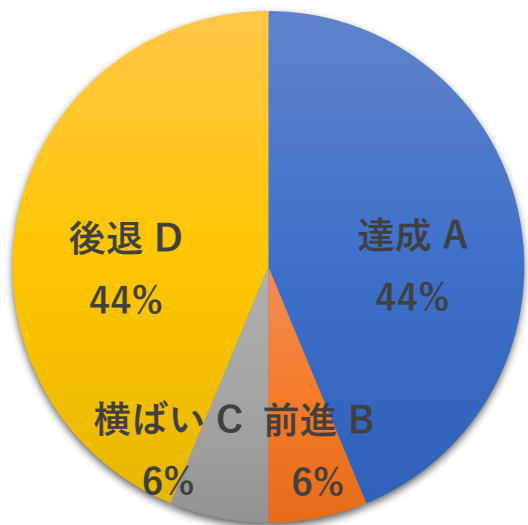
基本目標2 新しいひとの流れ
関係人口を増やし、
佐渡への新しいひとの流れをつくる



施策別の 取組	目標指標 (KPI)	現況値 (R2)	実績 (R4)	実績 (R5)	目標 (R8)	R4評価	R5評価
起業創業機会の拡充 とU I ターンの強化	インキュベーションセンター等への 進出企業数	6社	16社	19社	13社	A	A

基本目標3 KPI進捗状況

基本目標3 結婚・出産・子育て 結婚・出産・子育て・教育の 希望をかなえる



施策別の取組	目標指標 (KPI)	現況値 (R2)	実績 (R4)	実績 (R5)	目標 (R8)	R4評価	R5評価
結婚の希望をかなえる	婚姻率	2.7%	2.2%	2.2%	3.0%	D	D
安心して子育てできる環境づくり	第3子以降の出生数	58人	54人	44人	50人台を維持	D	D
	地産地消率	40%	40%	37.90%	45%	C	D
	ICTシステム導入	0園	5園	4園	7園	B	A
	ファミリーサポートセンター会員数	121人	176人	196人	150人	A	A
	放課後児童クラブ延べ利用児童数	57,000人	65,513人	78,321人	60,000人	A	A
安心して妊娠・出産できる支援の充実	出生数	249人	206人	184人	287人	D	D
子育て環境の充実	外国にルーツのある母を就労につなげた人数	8人	6人	3人	20人	D	D
	青少年健全育成事業参加者数	7,580人	7,375人	6,688人	14,000人	D	D
学校教育の充実	自己肯定感の肯定的評価率	小学校82.6% 中学校71.8%	小学校82.4% 中学校78.8%	小学校87.7% 中学校79.1%	小学校85% 中学校75%	A	A
	高等教育・研究機関等を活用した教育活動の実施	65.7%	83.0%	82.9%	80%	A	A
	ICTを活用した授業研究の実施校	74%	100%	100%	100%	A	A
	就学支援申請の意思確認回収率	85%	88%	95.3%	95%	B	A

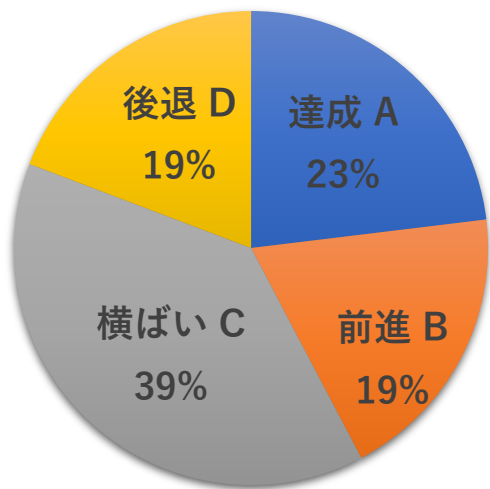
評価D事業に対する分析

1. 婚姻率

- R4年度に民間事業者が実施する出会いの場創出イベントに対し支援を行った。R4・5年度と現状維持できているが、依然低迷していることから、今後は、婚活マッチングシステムへの登録助成や出会いから結婚までのサポート支援策を検討する。

基本目標4 KPI進捗状況

基本目標4 まちづくり
ひとが集い、賑わい、
安心して暮らせる
持続可能なまちづくり



施策別の取組	目標指標 (KPI)	現況値 (R2)	実績 (R4)	実績 (R5)	目標 (R8)	R4評価	R5評価
持続可能な地域づくり	地域づくり活動に関わった人数	4,442人	6,333人	7,111人	4,600人	A	A
	地域おこし協力隊定着率	80.8%	62.9%	62.20%	82.5%	D	D
	再生可能エネルギー推進補助金活用件数	10件	20件	103件	20件	A	A
公共交通体系の充実	路線バス利用者	35万人	36万人	38万人	38万人	B	A
高齢者福祉の充実	高齢者実態調査による生きがいがあると回答した高齢者の割合	59.5%	58.0%	58.00%	65.0%	D	D
地域福祉力の充実	ボランティア登録数	523人	493人	492人	550人	D	D
健康・医療の体制づくり	健康・スポーツ・ウォーキング教室の参加者数	1,380人	2,282人	2,429人	1,800人	A	A
	さどひまわりネット加入率	31.5%	34.2%	35.60%	35.0%	B	A
歴史文化資源等の保全・活用	世界遺産構成資産の整備件数	1件	2件	2件	8件	C	D
安心安全で快適な暮らしの確保	地域防災リーダー認定、登録者数	241人	211人	206人	300人	D	D
	人口に対する普通救命講習受講者割合	17.2%	18.8%	20.10%	20.0%	B	A

評価D事業に対する分析

1. 高齢者実態調査による生きがいがあると回答した高齢者の割合

- コロナによる外出自粛などの閉そく感や、生きがいの上位にある「孫」など家族や友人への面会が制限されたことが低下の一因と考えられる。一方で生きがいを感じる要因が分散傾向にあるため、生きがいが多様化していく中で、様々な社会参加の機会を創出する対策について検討していく。

2. 地域防災リーダー認定、登録者数

- 地域防災リーダーの要件である防災士の資格取得に係る費用は高額であることも増加につながらない要因と考えられ、既存の地域防災リーダー育成補助金や、佐渡を会場として研修会を開催していただくようお願いするなど、旅費等の個人負担の軽減に取り組むことで新規の地域防災リーダーの増加に努める。